

今後の育種集団の構成方法

- 育種集団は、基本的にはエリートツリーで構成する。また、短期・長期の改良効果の確保と遺伝的多様性の確保を図るため、育種集団は複数の分集団に分ける。このとき、分集団内で交配して改良効果を確保するが、遺伝的多様性確保のため分集団間での交配は原則行わない。
- 育種集団については、北方針葉樹等において、エリートツリーだけでは十分な遺伝変異と改良効果を確保できない場合には、遺伝的に優れていることを条件に、優良木等の導入も行う。
- また、育種年限が長く着花機会が少ない北方針葉樹等の育種の高速化のため、ローリングフロントの導入を検討する。

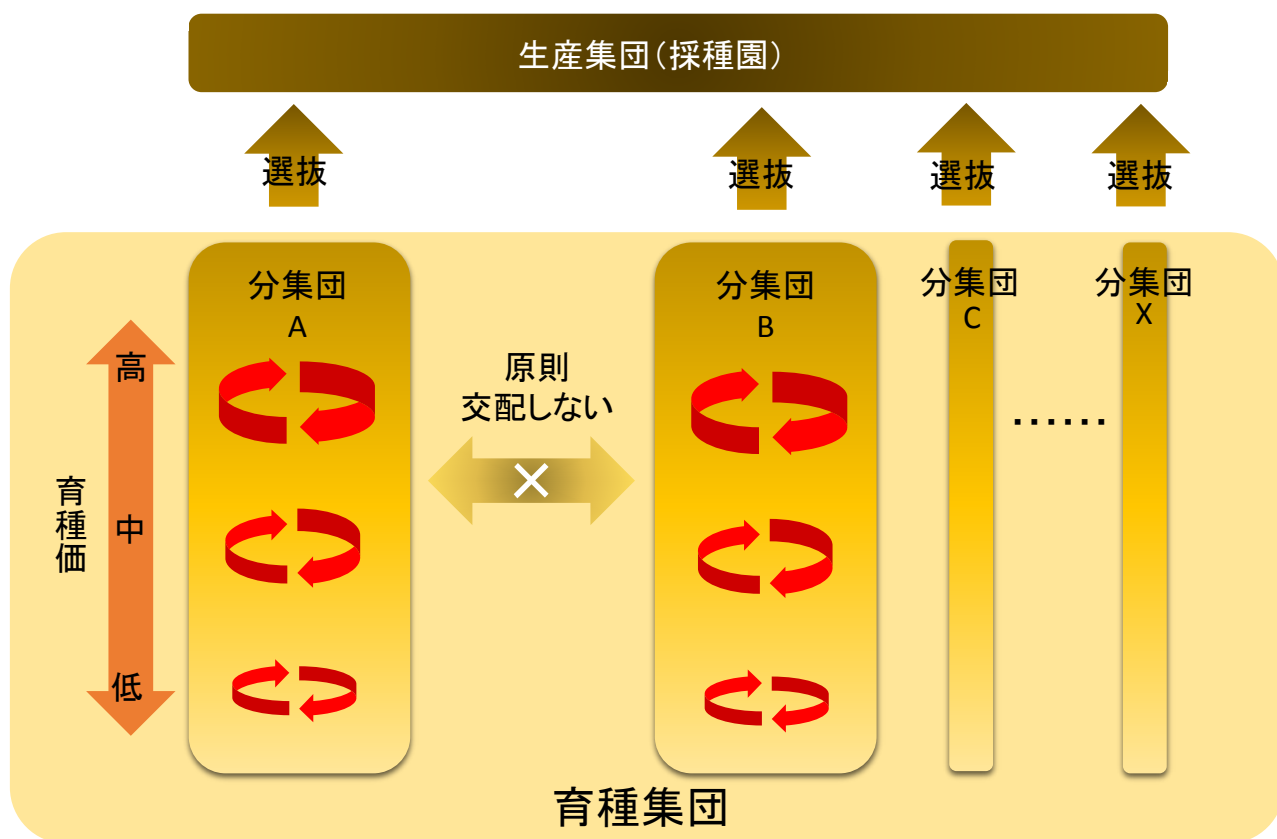


図. 今後の育種集団の構成方法